

天皇杯・皇后杯
平成 26 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）

- (1) 名 称 天皇杯・皇后杯 平成 26 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 平成 27 年 1 月 13 日（火）～18 日（日） 6 日間
 (3) 会 場 東京体育館（J R 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 下車徒歩 1 分）
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL: (03) 5474-2111
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 東京都卓球連盟
 (6) 後 援 東京都、公益財団法人東京都体育協会、一般財団法人上月財団（予定）
 (7) 協 賛 シチズン時計株式会社 ほか（予定）
 (8) 協 力 神戸ウォーター株式会社、日本卓球公認工業会（予定）
 (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男・女シングルスは第 1 ステージは 11 本 5 ゲームマッチ、第 2 ステージは 11 本 7 ゲームマッチ、他の
 種目はすべて 11 本 5 ゲームマッチで行なう。
 (11) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表 - (1)

加盟団体	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混 合 複
東京（開催地）、愛知	10	10	5	5	5
北海道、福岡	8	8	4	4	4
神奈川	7	7	4	4	4
埼玉、静岡	6	6	3	3	3
千葉、京都、大阪、兵庫	5	5	3	3	3
新潟、長野、広島	4	4	2	2	2
山形、茨城、栃木、群馬、石川、岐阜、岡山、山口、佐賀、熊本、鹿児島	3	3	2	2	2
青森、岩手、宮城、秋田、福島、山梨、富山、福井、三重、滋賀、奈良、和歌山、 鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、長崎、大分、宮崎、沖縄	2	2	1	1	1

表 - (2)

加盟団体名	ジュニア男子	ジュニア女子
東京（開催地）、神奈川、静岡、愛知、兵庫、	8	8
北海道、千葉、	7	7
茨城、埼玉、	6	6
福島、新潟、	5	5
宮城、栃木、群馬、長野、岐阜、大阪、福岡	4	4
青森、岩手、山形、三重、京都、岡山、広島、山口、愛媛	3	3
秋田、山梨、富山、石川、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川、 徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

表 - (3) ブロック推薦数（男・女シングルスまたはジュニア男・女いずれか 1 種目）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

- (13) 参加資格
- ①参加者は、平成26年度（公財）日本卓球協会登録者でかつ、段級制規程（注1参照）に定められた有段者であること。
 - ②男・女シングルス、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。但し、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) 日本で生まれたもので引き続き3年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 - (ハ) 引き続き10年以上日本に居所を有する者。
 - (二) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上日本に住所を有する者。
 - ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙をFAXする事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
 - ⑤ジュニアは、平成9年4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
 - ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。
※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
 - ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	平成25年度全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生は・・・一般に
2		平成25年度総合ランキング	男女シングルスランキング各16位まで・・・男女各シングルスに
3		*平成26年度全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
4		平成25年度全日本（カデット）ランキング	14歳（中学2年）以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳（中学1年）以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
5		平成26年度全国中学校	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
6	日本リーグ	*平成26年度日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
7	日学連	*平成26年度全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
8	高体連	*平成26年度全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各8位まで・・・男女ダブルスに
1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。			

- (14) 競技ルール
- ① 現行の日本卓球ルールによる。
 - ② 組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。但し、ランキング選手（一般シングルス種目の上位16シード、ダブルス種目の上位8シード、ジュニア種目の上位8シード）はフリー抽選とする。
 - ③ 一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルスのランキング推薦選手はベスト32決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト16決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
 - ④ 一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
 - ⑤ テーブルはブルーを使用する。
 - ⑥ 使用球は、JTТА公認球；40mmホワイトを使用する。
 - ⑦ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
 - ⑧ 同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを2種類以上持参すること。
 - ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
 - ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
- ※フロアマットを使用することがある。

- (15) 参加料
- | | | |
|-------|----|--------|
| シングルス | 1名 | 3,000円 |
| ダブルス | 1組 | 4,000円 |

- (16) 申込方法
- 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
- （振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）
- 原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛
TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373
コピーを 〒160-0023 新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル402号室
東京都卓球連盟 宛
TEL: (03) 5389-2965、FAX: (03) 5389-2987
- ① 推薦出場の手選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 - ② 卒業高等学校所在地から予選会を経て獲得したものについては、その都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをする事。
 - ③ ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。

- (17) 申込締切
- 平成26年11月18日（火）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (18) 宿 泊
- 東京都卓球連盟ホームページをご覧ください。

- (19) その他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は原則として認めない。又、組み合わせ抽選決定後は一切認めない。
 - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。
棄権する場合は、理由を付して当該加盟団体長あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団体長は、その旨をただちに本会あて通知すること。
 - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
 - ④ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑤ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急承知はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦ 本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年者である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

① 平成 25 年度全日本選手権大会ランキング (申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	DIOジャパン	1	石川 佳純	(山口)	全農
2	町 飛鳥	(東京)	明治大学	2	森 さくら	(大阪)	昇陽高校
3	吉田 海偉	(埼玉)	DIOジャパン	3	若宮三紗子	(大阪)	日本生命
4	上田 仁	(青森)	青森大学	4	福原 愛	(東京)	ANA
5	高木和 卓	(東京)	東京アート	5	平野早矢香	(大阪)	ミキハウス
6	吉田 雅己	(愛知)	愛知工業大学	6	田代 早紀	(大阪)	日本生命
7	岸川 聖也	(千葉)	ファースト	7	土井みなみ	(広島)	中国電力
8	坪井 勇磨	(青森)	青森山田高校	8	加藤 杏華	(岐阜)	県立岐阜商業高校
9	森田 侑樹	(東京)	シチズン	9	河村 葉依	(静岡)	アスモ(株)
10	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	10	加藤 美優	(東京)	JOCエリートアカデミー
11	酒井明日翔	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	11	根本 理世	(岐阜)	十六銀行
12	松平 健太	(東京)	早稲田大学	12	中島未早希	(東京)	サンリツ
13	御内健太郎	(東京)	シチズン	13	成木 綾海	(京都)	同志社大学
14	時吉 佑一	(岐阜)	ZEOS	14	天野 優	(東京)	サンリツ
15	大島 祐哉	(東京)	早稲田大学	15	丹羽 美里	(埼玉)	淑徳大学
16	及川 瑞基	(青森)	青森山田高校	16	芝田 沙季	(大阪)	四天王寺高校
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	森 藺 政崇	(青森)	青森山田高校	1	平野早矢香	(大阪)	ミキハウス
	三部 航平	(青森)	青森山田高校		石川 佳純	(山口)	全農
2	岸川 聖也	(千葉)	ファースト	2	中川 博子	(広島)	中国電力
	水谷 隼	(東京)	DIOジャパン		土田 美佳	(広島)	中国電力
3	松平 健太	(東京)	早稲田大学	3	市川 梓	(茨城)	日立化成
	丹羽 孝希	(東京)	明治大学		中村 薫子	(茨城)	日立化成
4	田添 健汰	(福岡)	希望が丘高校	4	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	上村 慶哉	(福岡)	希望が丘高校		藤井 優子	(大阪)	日本生命
5	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	5	藤井 寛子	(大阪)	日本生命
	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン		若宮三紗子	(大阪)	日本生命
6	張 一博	(東京)	東京アート	6	阿部 恵	(東京)	サンリツ
	高木和 卓	(東京)	東京アート		岡本真由子	(東京)	サンリツ
7	森本 耕平	(愛知)	愛知工業大学	7	池田 好美	(茨城)	日立化成
	吉村 真晴	(愛知)	愛知工業大学		平野 容子	(東京)	東京富士大学
8	平野 友樹	(東京)	明治大学	8	土田 美紀	(広島)	中国電力
	有延 大夢	(東京)	明治大学		三宅菜津美	(広島)	中国電力
	吉田 海偉	(埼玉)	DIOジャパン		小野 恵保	(東京)	日立化成
	野邑 大陽	(埼玉)	DIOジャパン		山梨 有理	(東京)	日立化成
	安藤 康寛	(岐阜)	岐阜信用金庫		酒井 春香	(大阪)	ミキハウス
	時吉 佑一	(東京)	ZEOS		松本 優希	(大阪)	ミキハウス
ベスト	田中 満雄	(東京)	シチズン	ベスト	加藤 知秋	(岐阜)	県立岐阜商業高校
	久保田 隆三	(東京)	シチズン		加藤 杏華	(岐阜)	県立岐阜商業高校
	松生 直明	(東京)	中央大学		石垣 優香	(大阪)	日本生命
	藤本 祥	(東京)	中央大学		橋本 帆乃香	(大阪)	ミキハウス JSC
16	横山 輝	(東京)	明治大学	16	小西 杏	(埼玉)	DIOジャパン
	栗田 晋一郎	(東京)	明治大学		森 まりな	(埼玉)	DIOジャパン
	水野 裕哉	(東京)	東京アート		堀 優美	(熊本)	慶誠高校
	大矢 英俊	(東京)	東京アート		安藤 みなみ	(熊本)	慶誠高校
	森田 侑樹	(東京)	シチズン		平 侑里香	(埼玉)	正智深谷高校
	軽部 隆介	(東京)	シチズン		平 真由香	(埼玉)	正智深谷高校
	下山 隆敬	(東京)	協和発酵キリン		石塚 美和子	(静岡)	アスモ
	小野 竜也	(東京)	協和発酵キリン		平田 有貴	(静岡)	アスモ
混合ダブルス				男子ジュニア			
1	張 一博	(東京)	東京アート	1	吉村 和弘	(山口)	野田学園高校
	森 藺 美咲	(東京)	日立化成	2	酒井明日翔	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京
2	吉村 真晴	(愛知)	愛知工業大学	3	村松 雄斗	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京
	石川 佳純	(山口)	全農	4	郡山 北斗	(岡山)	関西高校
3	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	5	平野 晃生	(山口)	野田学園高校
	笠原 多加恵	(東京)	NTT東日本東京	6	三部 航平	(青森)	青森山田高校
4	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	7	渡辺 裕介	(高知)	明德義塾高校
	若宮三紗子	(大阪)	日本生命	8	緒方遼太郎	(東京)	JOCエリートアカデミー
5	御内健太郎	(東京)	シチズン	女子ジュニア			
	北岡エリ子	(東京)	中央大学	1	加藤 美優	(東京)	JOCエリートアカデミー
6	上田 仁	(青森)	青森大学	2	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー
	鈴木 李茄	(青森)	専修大学	3	浜本 由惟	(東京)	JOCエリートアカデミー
7	神 巧也	(東京)	明治大学	4	阿部 愛莉	(大阪)	四天王寺高校
	平野 容子	(東京)	東京富士大学	5	佐藤 瞳	(北海道)	札幌大谷高校
8	及川 瑞基	(青森)	青森山田高校	6	前田 美優	(福岡)	希望が丘高校
	宋 恵佳	(青森)	青森山田高校	7	森 さくら	(大阪)	昇陽高校
				8	平 真由香	(埼玉)	正智深谷高校

② 平成25年度全日本卓球総合ランキング

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
9	()	9	()
10	()	10	()
11	()	11	()
12	()	12	()
13	()	13	()
14	()	14	()
15	()	15	()
16	()	16	()

③ 平成26年度全日本社会人卓球選手権大会ベスト8 (男女ダブルスベスト4) (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	軽部 隆介 (東京) シチズン	1	阿部 恵 (東京) サンリツ
2	張 一博 (東京) 東京アート	2	野中 由紀 (岐阜) 十六銀行
3	森田 侑樹 (東京) シチズン	3	岡本真由子 (東京) サンリツ
4	時吉 佑一 (東京) ZEOS	4	市川 梓 (茨城) 日立化成
5	吉田 海偉 (埼玉) DIOジャパン	5	玉石 美幸 (三重) エクセディ
6	笠原 弘光 (東京)	6	福岡 春菜 (広島) 中国電力
7	坪口 道和 (長崎)	7	酒井 春香 (大阪) ミキハウス
8	小野 竜也 (東京)	8	河村 茉依 (静岡) アスモ(株)
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	{ 水野 裕哉 (東京) 東京アート 大矢 英俊 (東京) 東京アート	1	{ 藤井 寛子 (大阪) 日本生命 若宮三紗子 (大阪) 日本生命
2	{ 森田 侑樹 (東京) シチズン 軽部 隆介 (東京) シチズン	2	{ 重本 幸恵 (東京) サンリツ 彭 雪 (東京) サンリツ
3	{ 時吉 佑一 (東京) ZEOS 安藤 康寛 (岐阜) 岐阜信用金庫	3	{ 阿部 恵 (東京) サンリツ 中島未早紀 (東京) サンリツ
4	{ 松瀬 健一 (東京) T. O. M 根田 雄一 (東京) T. O. M	4	{ 土田 美紀 (広島) 中国電力 三宅菜津美 (広島) 中国電力

④ 平成25年度全日本(カデット14歳以下の部)ランキングよりジュニアへの推薦
(申込みは都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス		14歳以下女子シングルス	
1	沼村 斉弥 (青森) 青森山田中学校	1	加藤 美優 (東京) JOCコートアカデミー
2	三上 貴弘 (石川) 遊学館ジュニア	2	木村 香純 (大阪) ミキハウスJSC
3	高見 真己 (愛知) 愛工大付属中学校	3	笹尾明日香 (神奈川) 横浜隼人中学校
4	穂積 和也 (東京) 渋谷本町学園	4	梅村 優香 (大阪) ミキハウスJSC
5	大野 未来 (岐阜) 長森中学校	5	木村 光歩 (岡山) 山陽女子中学校
6	田中虹太郎 (東京) 長久八幡中学校	6	早田 ひな (福岡) 石田卓球クラブ
7	柏 友貴 (岡山) ねや卓球クラブ	7	柴田 理彩 (愛知) 御津クラブ
8	吉田 海斗 (埼玉) E's	8	皆川 愛華 (大阪) TEAM上宮

⑤ 平成26年全国中学校大会よりジュニアへの推薦 (申込みは都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑥ 平成 26 年度日本リーグ実業団連盟からの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

⑦ 平成 26 年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）よりの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

⑧平成 26 年度全国高等学校選手権大会よりの推薦（申込みは都道府県卓から）

（注） J：ジュニアに推薦

★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
9	()	9	()
10	()	10	()
11	()	11	()
12	()	12	()
13	()	13	()
14	()	14	()
15	()	15	()
16	()	16	()
ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）		ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）	
Jベ	()	Jベ	()
Jス	()	Jス	()
Jト	()	Jト	()
J32	()	J32	()
J	()	J	()
J	()	J	()
J	()	J	()
J	()	J	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()
5 {	()	5 {	()
	()		()
6 {	()	6 {	()
	()		()
7 {	()	7 {	()
	()		()
8 {	()	8 {	()
	()		()

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）
③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）

- (ア) 初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者・・・・・・・・・・2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者・・・・・・・・・・3 段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 1 6 入り経験者・・・・4 段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者・・・・5 段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者・・・・・・・・・・6 段

※段位の申請につきましては、その年度に登録されている都道府県協会（連盟）を通じてお申込みいただきますようお願いいたします。